

切除不能進行胃癌に対する治療選択における GRIIm-score の有用性の検討

1. 研究の対象

2019 年 1 月から 2024 年 5 月 切除不能進行胃癌と診断された51例

2. 研究の背景・目的・方法・期間

〔背景〕 切除不能進行胃癌治療では薬物療法が奏功し conversion 手術に至る症例が増加しているが、初診時の経過予測が難しい、一方免疫チェックポイント阻害薬治療が種々の癌治療成績向上をもたらす中 GustaveRoussy 免疫スコア(GRIIm-s)の予後因子としての有用性の報告を散見する。

〔目的〕 当院における切除不能進行胃癌に対する conversion 手術達成の予測因子としての GRIIm-s の有用性を検討する

〔方法〕 採血結果のうち LDH,ALB,NLR で GRIIm-s を R0 切除を行えた症例群と行えなかった症例群の 2 群間で GRIIm-s を含む各種臨床病理学的因子を比較する

〔期間〕 倫理委員会承認後から～ 2025/12/31

3. 研究に用いる資料・情報の種類

カルテ情報

4. 個人情報の取扱いについて

この調査・研究では個人情報・個人識別符号・要配慮個人情報を使用する。

すべてのデータは、実施担当代表者(氏名)が、外部ネットワークと切り離されたパスワードロックのかかるパソコン上に管理・保管する。仮名化したデータは、外部ネットワークから切り離されたパソコン上に、削除情報等とは別に管理・保管する。

5. 本研究に用いた情報の二次利用、外部への試料・情報の提供について

他の医療機関に提供する可能性はない。

6. 研究成果の公表について

本研究の結果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

研究結果および報告内容に関しては、仮名化し個人情報*特定できないよう十分配慮します。

7. 研究組織

研究責任者

近江八幡市立総合医療センター 診療部 外科 長田寛之

研究担当者

近江八幡市立総合医療センター 診療部 外科 中野且敬 小城正大 竹本晴彦 萩野正晴 有村勇哉

8. お問い合わせについて

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書等の資料を入手・閲覧することが出来ます。

また、本研究対象に該当するかたで、本調査へのご了承が得られない場合（診療録を見られたくない

など）は、その求めに応じて対象者の方の試料・情報を本研究に利用することについて停止することができます。停止を求められる場合には、2025 年 7 月までに下記の連絡先までお申し出ください。なお、了承の有無にかかわらず、患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究に了承いただけない場合の連絡先】

近江八幡市立総合医療センター 診療部 外科 長田寛之

〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町 1379 番地

TELL 0748-33-3151